红

会

の実現

東京オリンピック・

パラリンピック

競技大会開催



2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催時に、訪日外国人を含む誰もがストレス を感じることなく円滑に移動・活動できるストレスフリー社会を実現



- 屋内で人(スマートフォン等)の位置を測位する環境がない。
- 測位ができた結果を表示する屋内の電子地図がない。 (限定的に整備されており、面的サービスが提供できていない。)
- 屋内の地図を整備・更新し、市場へ流通させる仕組み、体制が確立されていない。

サービスイメージ



広い空港内の経路も

複雑な駅間の乗り換えや 屋内(地下)空間も

競技会場までの経 路も

訪日外国人や高齢者等、誰もが複雑な構造となっている地下空間での円滑な駅間の乗り継ぎや 屋内外目的地へのシームレスな移動が可能に

~東京を、日本を訪れる方に世界最先端、最高級のおもてなしを~

世界に先駆けて高精度な測位環境を実現し、外国人・高齢者・障害者をはじめ誰もがストレスを 感じることなくオリンピック・パラリンピックを楽しむためのきめ細かなおもてなしサービスに活用

平成32年度 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 平成31年度 (2015年度) (2020年度) (2016年度) (2017年度) (2018年度) (2019年度)

フェーズ① 実証実験による先行事例の形成、位置情報サービスの検証 フェーズ② サービスの見える化実証、社会実装に向けた普及展開

空間情報インフラの整備促進

•東京駅周辺、新宿駅周辺、成田空港、日産スタジアム周辺におい て、屋内電子地図の整備事例の蓄積や、屋内測位技術の検証・ 実証を実施

•民間事業者による環境整備・サービス提 供モデルの検討・実証

•サービス提供エリアの拡大 (競技 会場、主要駅、空港等)、位置 情報サービスの多様化

•屋内地図を整備・更新し、流通させる体制の検討

い/少ないルートのナビゲーション、英語対応)

•G空間情報センターにて屋内電子地図の 公開

証

•オリパラ関連機関、他プロジェクトと 連携した大規模実証

多様なサービスの普及展開

•事務局アプリによるナビゲーション実証(段差のな・屋内外シームレスナビゲーショ •位置情報を活用した災害時の 移動支援のための情報提供実 ン実証

・民間事業者によるアプリ開発 → 新たなサービス創出

•アプリベンダー等による空間情報 インフラの検証・評価

•視覚・聴覚障害者向けナビ ゲーション実証

※段階的に民間事業者主体に移行

国土地理院「3次元地理空間情報を活用した安全・安心・快適な社会実現のための技術開発」 ・階層別屋内地理空間情報データ仕様書(案)

•位置情報基盤を構成するパブリックタグ情報共有のための標準仕様

関連 施策

高精

度測

位社

会プ

ロジェ

国交省総合政策局 •歩行空間ネットワークデータ仕 様の改訂

